

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	設計製図5（Atelier Practice of Design and Drawing 5）		
ナンバリングコード	L40310	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 建築設計製図
単位数	2	配当学年 / 開講期	4 年 / 前期
必修・選択区分	コース選択必修:建築設計コース 選択:建築工学コース、住居・インテリアコース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L031001	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司、島岡 成治、福田 健		
履修上の注意、 履修条件	卒業設計を行う予定の者は履修が望ましい。 問題に取り組む積極的な姿勢が大切です。そのことが卒業研究、卒業設計のみならず、社会に出たときの実践的能力を養います。		
教科書	特にありません。		
参考文献及び指定図書	適宜紹介します。		
関連科目	建築計画1・2、設計製図1～4 など		

○基本情報		
授業の目的	設計製図4と同様に、広い意味でのデザイン能力の向上を重視した建築設計演習です。建築の空間構成に関する能力や造形力、表現力など設計技術に関する能力の向上だけでなく、現実の社会や都市などに潜む諸問題の発見や社会的提案などを含む、建築設計の総合的能力を向上させることが目的です。そのため、具体的な地域を対象として設定します。	
授業の概要	「日本建築学会設計競技」の課題に沿って設計演習を行います。グループおよび各自の課題に対する幅広い学習・研究が必要になりますが、そのような学習のあり方そのものが創造的であることが望まれます。また、こうした作品制作を通して、各自にとって、建築をつくることの意義を改めて問い直すことも重要であると考えています。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①課題の探求、設定、解決方法の提案のため、学生自らが学外の関係各所に出向いて調査し、主体的に作品制作する積極性を身につける。		10点	
【知識・理解】	②取り組んだ課題とその解決方法の提案のための基礎的知識を身につける。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③建築の空間構成に関する能力、造形力、表現力を修得する。 ④建築設計に関する高度なプレゼンテーション技術を修得する。		30点	
【思考・判断・創造】	⑥現実の社会や都市の諸問題に対する解決方法を模索するための基礎力を身につける。		30点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
提出することが最低条件です。その内容については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。				
S:特に優れて満たしている。A:優れて満たしている。B:良く満たしている。C:満たしている。				
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他
フィードバックは、適宜行います。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	設計製図5 (Atelier Practice of Design and Drawing 5) 西村 謙司、島岡 成治、福田 健	授業コード	L031001
学修内容				
1. 課題発表 設計製図の課題発表を行います。例年、日本建築学会設計競技の課題に沿って、演習が行われます。先ず、課題の内容を具体的に説明し、コンペへの取り組み方について説明します。				
予習	毎年2月に発表される日本建築学会設計競技の課題を読み、考えること。			約2時間
復習	設計案の敷地調査計画を立てる。締切までのスケジュールを検討する。			約2時間
2. 課題発表 設計製図の課題発表を行います。例年、日本建築学会設計競技の課題に沿って、演習が行われます。先ず、課題の内容を具体的に説明し、コンペへの取り組み方について説明します。				
予習	毎年2月に発表される日本建築学会設計競技の課題を読み、考えること。			約2時間
復習	設計案の敷地調査計画を立てる。締切までのスケジュールを検討する。			約2時間
3. 課題の検討 発表された課題の内容の検討を行います。課題のとらえ方を理解するとともに、基本方針の打ち出し方について説明します。				
予習	設計案の敷地調査、既往事例の調査。それらの発表準備。			約2時間
復習	敷地分析、既往事例に基づく設計案の検討。			約2時間
4. 課題の検討 発表された課題の内容の検討を行います。課題のとらえ方を理解するとともに、基本方針の打ち出し方について説明します。				
予習	設計案の敷地調査、既往事例の調査。それらの発表準備。			約2時間
復習	敷地分析、既往事例に基づく設計案の検討。			約2時間
5. 設計趣旨の検討 課題に対して、敷地が選定される地域を想定しながら、基本方針を打ち出していきます。基本方針をもとに設計趣旨の概要をまとめていきます。設計趣旨を作成するための参考図書の調べ方について説明します。				
予習	設計案の敷地分析、敷地模型の作製。敷地における敷地特性の調査、設計案のコンセプト作成。			約2時間
復習	文献調査、実地調査に基づく敷地分析、設計案の検討。			約2時間
6. 設計趣旨の検討 課題に対して、敷地が選定される地域を想定しながら、基本方針を打ち出していきます。基本方針をもとに設計趣旨の概要をまとめていきます。設計趣旨を作成するための参考図書の調べ方について説明します。				
予習	設計案の敷地分析、敷地模型の作製。敷地における敷地特性の調査、設計案のコンセプト作成。			約2時間
復習	文献調査、実地調査に基づく敷地分析、設計案の検討。			約2時間
7. 敷地調査1 課題に対する基本方針の検討とともに敷地の選定を行います。敷地選定のための基礎調査を行い、敷地及びその敷地が位置する地域の特性について深く調査を行っていきます。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	授業中に指摘された敷地分析に関する問題点を訂正し、さらなる敷地調査、分析を行う。			約2時間
8. 敷地調査1 課題に対する基本方針の検討とともに敷地の選定を行います。敷地選定のための基礎調査を行い、敷地及びその敷地が位置する地域の特性について深く調査を行っていきます。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	授業中に指摘された敷地分析に関する問題点を訂正し、さらなる敷地調査、分析を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	設計製図5（Atelier Practice of Design and Drawing 5） 西村 謙司、島岡 成治、福田 健	授業コード	L031001
学修内容				
9. 敷地調査2				
敷地が選定されたならば、敷地について詳しく調査を行います。調査は周辺地域を含め地理学・歴史学・民俗学など他の学際分野の基礎資料をもとに建築的な観点から行います。調査の結果をビジュアルにプレゼンテーションするトレーニングも同時に行います。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	授業中に指摘された敷地分析に関する問題点を訂正し、さらなる敷地調査、分析を行う。			約2時間
10. 敷地調査2				
敷地が選定されたならば、敷地について詳しく調査を行います。調査は周辺地域を含め地理学・歴史学・民俗学など他の学際分野の基礎資料をもとに建築的な観点から行います。調査の結果をビジュアルにプレゼンテーションするトレーニングも同時に行います。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	授業中に指摘された敷地分析に関する問題点を訂正し、さらなる敷地調査、分析を行う。			約2時間
11. 敷地調査3				
敷地調査の結果は、地図、図表などを用いて表現します。その表現方法を説明し、コンペの課題に相応しい表現を試みます。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーションの手直し。敷地分析に基づく設計案の検討。			約2時間
12. 敷地調査3				
敷地調査の結果は、地図、図表などを用いて表現します。その表現方法を説明し、コンペの課題に相応しい表現を試みます。				
予習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーション準備。設計案の検討、発表準備。			約2時間
復習	敷地分析に基づく敷地特性のプレゼンテーションの手直し。敷地分析に基づく設計案の検討。			約2時間
13. 問題点の摘出と設計趣旨の作成				
敷地調査や課題の初期検討をふまえた上で、設計趣旨の作成を行います。設計趣旨は、設計の動機・目的・方法が明確にわかるように作成します。				
予習	敷地分析に基づく設計案のエスキース、発表準備。			約2時間
復習	授業で発表した設計案の再検討。			約2時間
14. 問題点の摘出と設計趣旨の作成				
敷地調査や課題の初期検討をふまえた上で、設計趣旨の作成を行います。設計趣旨は、設計の動機・目的・方法が明確にわかるように作成します。				
予習	敷地分析に基づく設計案のエスキース、発表準備。			約2時間
復習	授業で発表した設計案の再検討。			約2時間
15. エスキス1				
基礎調査と設計趣旨をふまえた上で、基本設計を行います。基本設計のエスキスのチェックを行い、エスキスを進化させます。				
予習	文献調査、実地調査に基づく敷地分析、設計案のエスキースの作成。発表準備。			約2時間
復習	授業で発表した設計案の再検討。			約2時間
16. エスキス1				
基礎調査と設計趣旨をふまえた上で、基本設計を行います。基本設計のエスキスのチェックを行い、エスキスを進化させます。				
予習	文献調査、実地調査に基づく敷地分析、設計案のエスキースの作成。発表準備。			約2時間
復習	授業で発表した設計案の再検討。			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	設計製図5 (Atelier Practice of Design and Drawing 5) 西村 謙司、島岡 成治、福田 健	授業コード	L031001
学修内容				
17. エスキス2				
エスキス1をふまえた上で、機能の検討とエスキスチェック2を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
18. エスキス2				
エスキス1をふまえた上で、機能の検討とエスキスチェック2を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
19. エスキス3				
エスキス2をふまえた上で、造形の検討とエスキスチェック3を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
20. エスキス3				
エスキス2をふまえた上で、造形の検討とエスキスチェック3を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
21. エスキス4				
エスキス3をふまえた上で、構造の検討とエスキスチェック4を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
22. エスキス4				
エスキス3をふまえた上で、構造の検討とエスキスチェック4を行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案のエスキスの作成。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した設計案の再検討。		約2時間	
23. 図面の作成				
基本設計の内容を図面で表現します。作成した図面のチェックを行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案の造形化、図面化。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した基本設計の再検討。		約2時間	
24. 図面の作成				
基本設計の内容を図面で表現します。作成した図面のチェックを行います。				
予習	文献調査、実地調査に基づく設計案の造形化、図面化。発表準備。		約2時間	
復習	授業で発表した基本設計の再検討。		約2時間	

○授業計画		科目名	設計製図5（Atelier Practice of Design and Drawing 5）	授業コード	L031001
		担当教員	西村 謙司、島岡 成治、福田 健		
学修内容					
25. 模型の作成					
図面をもとにプレゼンテーション用の模型を作成します。作成した模型のチェックを行います。					
予習		文献調査、実地調査に基づく設計案の造形化、図面化。模型作成。発表準備。			約2時間
復習		授業で発表した基本設計の再検討。図面のブラッシュアップ、模型作成。			約2時間
26. 模型の作成					
図面をもとにプレゼンテーション用の模型を作成します。作成した模型のチェックを行います。					
予習		文献調査、実地調査に基づく設計案の造形化、図面化。模型作成。発表準備。			約2時間
復習		授業で発表した基本設計の再検討。図面のブラッシュアップ、模型作成。			約2時間
27. プレゼンテーション					
基礎調査および設計趣旨をビジュアルに表現したものと図面、模型写真をすべて集めてプレゼンテーションボードに表現します。プレゼンテーションボードの作成方法について説明します。					
予習		基本設計のプレゼンテーション、発表準備。			約2時間
復習		基本設計のプレゼンテーションの再検討。			約2時間
28. プレゼンテーション、提出					
課題の最終チェックをし、日本建築学会へ完成図面を提出します。					
予習		課題のプレゼンテーション最終訂正。発表準備。			約2時間
復習		提出した自らの作品の再考。			約2時間
29. 講評会					
提出した作品について講評会を行います。					
予習		提出した作品の講評会の発表準備。			約2時間
復習					約2時間
30. 講評会					
提出した作品について講評会を行います。					
予習		提出した作品の講評会の発表準備。			約2時間
復習					約2時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					
復習					